

都市開発における空き家の利用方法

中庭ゼミ 22311186 三浦伊勇汰

22311122 田中歩斗

・はじめに

利便性の高い場所における空き家利活用の現状を探る。

利便性の高い場所における空き家利活用の現状を探る。意義空き家を所有していて困っている人に多くの選択肢を与えることができる（ユーザー視点から）。利便性の高い土地でも空き家が増えると老朽化して、魅力が低下する。魅力を持続的に高めるためには、空き家の利活用が重要（社会的視点から）。

空き家の現状の問題

空き家の増加は衛生環境や景観の悪化、不法侵入や火災のリスク、土地価格の下落などの問題を引き起こします。新規住宅は利便性の高い場所で増加し、空き家が残りますが、利便性の低い空き家は放置されがちです。高齢化に伴い、空き家も増加し、手続きや費用の問題で放置されることが多いです。

空き家の活用方策

空き家の利用の仕方には様々あり、リフォームをして自分で住んだり、他人に貸したり、シェアハウス用や介護施設、サテライトオフィスにリノベーションなど多くのことに活用することができます。

調査方法

調査方法はインタビュー

アキサポとリビタの2社に行こうと思っている。

質問項目

お客様のニーズをどのように理解し、それに応えるためにどのような工夫をしているか。

環境や場所に配慮したリノベーションについて、何か特別な取り組みをしているか。

今後のキャリアビジョンや、取り組んでみたいリノベーションのアイデアはあるか。